

令和5年 9月 1日発行 学校だより 9月号



わかみどり

URL <http://minami.city.kitamoto.lg.jp>

北本市立南小学校

みんな なかよく みどりの学校
かしこく 元気な 南っ子

Tel 048-591-4709

Fax 048-591-5802



関東大震災から100年

校長 安田 一也

楽しかった夏休みが終わりました。あちこちの教室から笑い声や話し声が聞こえ、再び学校に活気が戻ってきました。全校児童そろって2学期を迎えることができ、教職員一同たいへん嬉しく思っています。夏休み中の家庭や地域でのご指導・ご支援ありがとうございました。

さて、9月1日は「防災の日」。今年には関東大震災が発生してから100年の節目を迎えるため書籍の刊行やメディアによる各種防災キャンペーンが展開されています。

1923年（大正12年）9月1日午前11時56分、相模湾北西部を震源とするマグニチュード7.9、震度6とされる「関東大震災」が発生しました。暦の上では二百十日（立春から数えて210日目）にあたり、台風が最も多く発生する時期と重なることから1960年（昭和35年）の閣議で了解されました。

官報では、「政府、地方公共団体など関係諸機関はもとより、広く国民の一人一人が台風、高潮、津波、地震などの災害について、認識を深め、これに対処する心がまえを準備しようというのが防災の日創設のねらいである。～中略～ 災害の発生を未然に防止し、あるいは被害を最小限に止めるには、どうすればよいかということをもみんなが各人の持ち場で、家庭で、職場で考え、そのための活動をする日を作ろう」と制定の主旨を報じました。60年近く経った現在でも、市町村や都道府県などを単位とした防災訓練がこの時期に行われているのはご存知の通りです。

防災に関連して下のピクトグラムが目にとまりましたので紹介します。



これは、「シェイクアウト訓練」と呼ばれる地震が発生した際、とっさに身を守るひとつづきの動きを図で示したものです。地震の被害は、地震の揺れそのものより、揺れによって生じた家屋の倒壊、家具の転倒・落下・移動、落下物の接触などによるものが多いため、地震発生直後の行動は、「姿勢を低くして、頭を守り、動かない」ことが何より優先されます。実際の訓練では、指定日時に届くメールを合図に各自が「そのときいる場所」で実施するもので、万一に備えての臨機応変な行動が求められることから、近年注目されています。

今月、本校で予定している避難訓練は、緊急地震速報を活用した訓練です。このシェイクアウト訓練の手法も参考にしながら、各学級において事前に訓練のねらいや手順を指導し、緊急地震速報のチャイム音が流れた後、地震の揺れが収まるまで各自に身を守らせる避難行動を働きかけます。どんな時でも当たり前に行える避難行動を迅速かつ緊張感をもたせて実施したいと考えます。

関東大震災から100年が経過した令和の今日、9月1日を迎え、物理学者であり防災学者でもあった寺田寅彦氏の言葉「天災は忘れた頃にやってくる」を防災の教訓として、受け止めます。